

事務事業名 在宅障害者通園事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：202

施策：	11	障がい者福祉の充実	財務コード	--
基本事業：	01	自立生活の支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	日常生活の自立に向けた障がい者支援サービスの延べ利用者数 施設入所・入院から在宅生活へ移行した障がい者数（計画期間内累計） 児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者数		担当課	生活福祉課
			担当係	障がい者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和53年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画																																																																																								
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）																																																																																												
在宅の障がい者で、重度の身体及び知的障がい者、その他市長が必要と認める者			事業の内容は 日常生活上の支援に関する事。 創作活動や生産活動の機会の提供に関する事。 その他障がい者の自立と社会参加の促進に関する事。  なお、さるびあ学園は、指定管理者制度を導入しており、現在は筑紫野市社会福祉協議会が運営を行っている。																																																																																												
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）																																																																																												
さるびあ学園に通所することによって、排せつや食事等の日常生活上の支援及び創作的活動等の機会の提供を受けることによって、障がい者の社会参加を促進する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th>07年度</th> <th>08年度</th> <th>09年度</th> <th rowspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベント、地域との交流参加人員</td> <td>人</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標	実績	実績	当初	要求	計画	計画	イベント、地域との交流参加人員	人	16	17	20	20																																																																		
成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標																																																																																							
		実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																								
イベント、地域との交流参加人員	人	16	17	20	20																																																																																										
5. コスト			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">千円</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th>07年度</th> <th>08年度</th> <th>09年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>県</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般</td> <td>千円</td> <td>370</td> <td>1,418</td> <td>2,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人工数</td> <td>人工</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,546</td> <td>1,563</td> <td>1,605</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(事業費+正職員人件費)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,916</td> <td>2,981</td> <td>4,205</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業費	計	千円	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	実績	実績	当初	要求	計画	計画		国	千円	0	0	0					県	千円	0	0	0					地方債	千円	0	0	0					その他	千円	0	0	0					一般	千円	370	1,418	2,600				正職員人工数	人工		0.2	0.2	0.2	0.2			正職員人件費	千円		1,546	1,563	1,605				トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		1,916	2,981	4,205			
事業費	計	千円	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度																																																																																							
			実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																							
	国	千円	0	0	0																																																																																										
	県	千円	0	0	0																																																																																										
	地方債	千円	0	0	0																																																																																										
	その他	千円	0	0	0																																																																																										
	一般	千円	370	1,418	2,600																																																																																										
正職員人工数	人工		0.2	0.2	0.2	0.2																																																																																									
正職員人件費	千円		1,546	1,563	1,605																																																																																										
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		1,916	2,981	4,205																																																																																										
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）			あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）  利用人数の増減はほとんどないが、重度障がい者が利用できる市内の通所施設として定着している。																																																																																												
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象動向</th> <th>維持</th> <th>類似事業</th> <th>あり</th> <th colspan="5">重度の重複障がい者が利用できる通所施設が市内に少ないため、長期利用されている方が多い。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手段効率化余地</td> <td>なし</td> <td>コスト削減余地</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公的関与</td> <td>妥当性がある</td> <td>受益者負担</td> <td>余地なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上位貢献度</td> <td>影響度は大</td> <td>業務推進課題</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果向上余地</td> <td>中程度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						対象動向	維持	類似事業	あり	重度の重複障がい者が利用できる通所施設が市内に少ないため、長期利用されている方が多い。					手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						成果向上余地	中程度																																																	
対象動向	維持	類似事業	あり	重度の重複障がい者が利用できる通所施設が市内に少ないため、長期利用されている方が多い。																																																																																											
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし																																																																																												
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし																																																																																												
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし																																																																																												
成果向上余地	中程度																																																																																														
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了																																																																																							
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）																																																																																															
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄																																																																																												
さるびあ学園は、昭和53年に重度の知的障がい、身体障がいを持つ18歳未満の障がい児のための市内唯一の在宅通園施設として開設。平成22年度から障害者自立支援法に基づき重度の心身障がい者及び障がい児を対象とした生活介護、日中一時支援事業を実施する事業所へと転換を図った。																																																																																															